中学校の窓

中学校の紹介

〔ホームページも、開いてみてください〕

日野市の各小中学校では、特色ある学校づくりを目指し、様々な取り組みを行っています。

今号では、中学校の様子を紹介します。

紹介する内容は、各校のホームページや学校便りの入口です。

詳しくは、各校のホームページをご覧ください。

（学校課）

日野第一中学校

統括校長　吉村　正久

「鍛える」

本校は新校舎になって三年目を迎えます。優れた校舎の機能を活かして教育活動の充実を目指します。その具体例として土曜日補習の継続、スポーツ活動推進校としての運動能力向上、部活動の充実に取組みます。プロジェクトの一つとして昨年度開設した吹奏楽部が道路の開通式やチャリティーコンサート、入学式入退場時の演奏などで活躍するようになってきました。

本校の教育目標に「進んで心身を鍛える人」という目標があります。本年度は「鍛える」を大きな目標として取組んでいきます。この取組が本校生徒の知・徳・体のバランスある成長につながっていくことを願っています。

http://www.j-hino1.hino-tky.ed.jp/

日野第二中学校

校長　尾形　斉

『自主、自律心の育成・思いやりのある心の育成・信頼される学校』目指します。

＊自校を誇れる学校づくりが大きな目標です。そのために中心となるのは

一、人格形成として……規範意識・正しい自己判断力・我慢力・素直な心・思いやりのある豊かな心を身に付けさせる事。

二、確かな基礎学力の向上を目指す事。の二点です。

＊第二中学校の素晴らしさを多くの人たちに広めるために始めた二中プロジェクト「心と体を育む『生き方教育』の推進。」も二年目になりました。その成果も少しずつ出ています。そして、学校区の小学校、地元の育成会等の連携を大切にして、地域に根付いた、信頼される学校を目指したいと思います。

落ち着いた朝の時間（朝読書）

http://www.j-hino2.hino-tky.ed.jp/

七生中学校

校長　中村　宏

「人とかかわり　協働する力を育てる学校」

七生中では「挨拶」をコミュニケーションの第一歩として重点的に指導しています。月初めの朝のあいさつ運動もすっかり定着しています。今後さらに発展させ、礼儀・作法としてだけでなく、積極的に人と出会い協働するために必要なものとして、様々な場面に即した挨拶ができるように指導をしていきます。

もう一つ重点的に進めているのは、家庭学習の習慣化による学力向上です。独自の「学習の手引き」を作成し、具体的な家庭学習の方法について示した上で「家庭学習カード」により、一人一人に達成感をもたせるようにしています。さらに、学期ごとに「学習強化週間」を設定し、学校全体で一体感をもって家庭学習に取り組む雰囲気を作っています。

朝のあいさつ運動

http://www.j-nanao.hino-tky.ed.jp/

日野第三中学校

校長　石村　康代

「生徒にとってよりよい　教育環境をつくる学校」

よい教育環境には、指導力を高めるために常に努力する教員、生徒のために絶大な協力をくださる保護者・地域の皆様などの人的環境、充実した ICT設備に代表される物的環境などがあります。また、生徒たち自身が互いに学びを尊重し合う姿勢とその基盤をなす「けじめ」ある学校生活も重要な要素です。生徒たちは、三中の建学の精神である「自主・自律」を誇りにし、大切に守ってきています。その意味で、三中はよい教育環境があるといえます。

「三中プロジェクト事業」も3年目となり、今年度は121名、3学級の新入生を迎えることができました。三中を支えてくださる全ての方々のおかげと感謝しています。これまでのよい伝統を継承・発展・充実させて「よりよい教育環境」をつくり、よりよく生きようとする生徒を育てていきます。

http://www.j-hino3.hino-tky.ed.jp/

日野第四中学校

校長　千葉　正

「元気なあいさつから」

四中生の1日は、明るく元気な「あいさつ」から始まります。生徒会によるあいさつ運動も実施していて、四中のよき伝統として今も受け継がれています。学校行事に取り組む姿勢も積極的で、特に、泰花祭体育の部や合唱の部では上級生が良きリーダーシップを発揮し、団結力を高め、協力しながら行事を盛り上げ、思い出に残る行事を作り上げています。先輩から後輩へと四中を思う気持ちが受け継がれていくことを強く感じます。

前向きで様々な活動に積極的に取り組んでいる生徒がいて、そして生徒をいつも献身的に支えてくれる保護者や地域の皆様がいます。今年も学校・家庭・地域の連携を大切にし、「楽しく安全で、あいさつのできる学校」を目指していきます。

http://www.j-hino4.hino-tky.ed.jp/

三沢中学校

統括校長　正留　久巳

「頑張る時はいつも今」

「学ぶ姿勢」を身につけることは、生涯にわたり大切です。そのためには、授業の規律を徹底し、教え育てていくことが重要となります。また、人格の完成を目指し、人としての在り方を教えていくことは、時代を超えて大切なものです。この二つを本校の教育の基本方針として取り組んでいます。自ら学び、自ら考え、判断し、表現し行動できるなど生きる力の育成のため、学ぶ姿勢づくりを重要な視点とし、基礎・基本を身につけさせるよう鍛え可能性を伸ばす学校を目指しています。生活指導は生き方の基盤づくりとして、あらゆる機会を捉え指導し、社会の一員としての態度の育成をすすめています。「頑張る時はいつも今」を合言葉に、学習に部活動に全力で取り組む姿勢を大切にしています。

http://www.j-misawa.hino-tky.ed.jp/

大坂上中学校

校長　岡部　秀敏

今年度も「学び場　ホワイト&ブルー坂中」

今年度も、「学び場　ホワイト&ブルー坂中」を本校のスローガンに掲げ、明るく元気でさわやかな学校を目指します。

その一つとして、年間を通して全校一斉に行なう一〇分間の朝読書を通して、落ち着いた雰囲気で一日をスタートさせ、良い学習環境での授業を実施します。

また、約七〇〇名の生徒とともに、「よいことはよい・悪いことは悪い、ダメなことはダメ」そして「しっかり挨拶する」という基本的な生活を大事にします。そして、学校全体の教育活動を通して、知識や知恵をつけ、心豊かで、元気でルールを守り、マナーを身に付け活かす坂中生の育成を目指します。

全校で行なわれている朝読書風景

http://www.j-ohsakaue.hino-tky.ed.jp/

平山中学校

校長　秋山　譲児

「今後の10年を見据えた　学校の基盤を創る」

保護者・地域のご協力のもと、日々の教育実践を円滑に進めることができておりますことに感謝申し上げます。昨年度の開校30周年を節目とし、また新たな学習指導要領全面実施の年でもあり、今後10年を見据えた平山中学校の基盤創りを目指します。

『当たり前のことを当たり前にやる』（日々のやるべきことに全力を尽くす）ことの積み重ねが、未来を切り開く生きる力を育むものと信じ、次の三つを柱に学校経営を進めております。

（1）授業規律の確保と学力向上

（2）楽しく安全な学校生活の実現

（3）地域との連携と教育力の導入

今年度も、より一層この地に根ざした教育を創造・推進し、皆様の期待に応えていく所存です。

「話は目で聴く」
整然とした全校朝会

http://www.j-hirayama.hino-tky.ed.jp/